

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24229008	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	医薬品の体内動態の種差：PET マイクロドーズ臨床試験による研究	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	畑澤 順（大阪大学・大学院医学 系研究科・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、PET マイクロドーズ試験により医薬品の体内動態における種差の詳細を解明し、医薬品開発などに必須の情報を得ようとするものである。既に、C11-donepezil と F18-fluorobronophynylal anine について実験を行い、一部の臓器で分布に大きな種差（ラットとヒト）があること、マイクロドーズと薬理量投与とで体内分布に違いがないことを見だし、本試験実施の重要性を明らかにしており、順調に研究は進捗していると判断できる。今後は抗癌剤など更に対象薬剤を広げ、複数の候補化合物から1つを選択する場合の優先すべき判断基準を確立することを目標としており、我が国の創薬研究の基盤となる成果が期待できる。